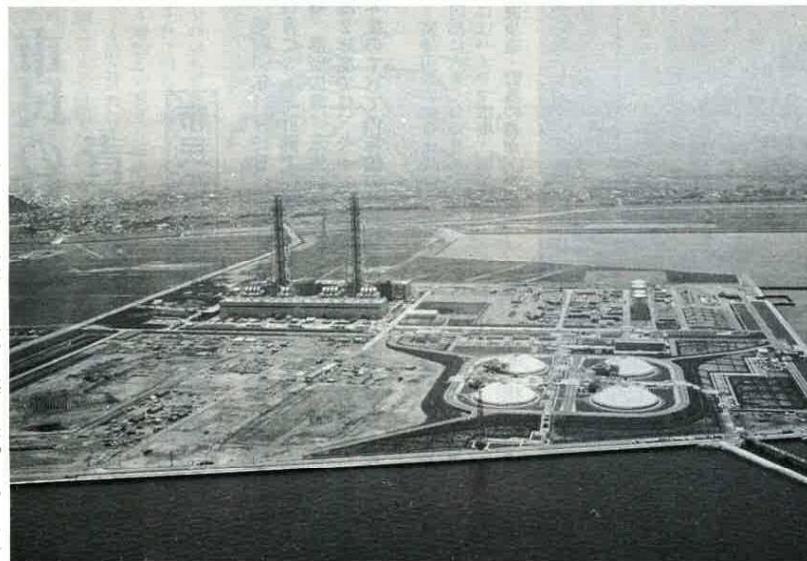


住みよい富津市に向けて



(きれいな空、きれいな海を保っています)

音・振動等の発生施設

家庭でもこんな 淨化対策ができます

私たちが何気なく台所から流している調理くずや食べ残し、廃油などが川や沼を汚しているとしたら、私たちでも何かができるはずです。各家庭で少しづつ努力をすればそれだけ確実に川や沼が浄化されます。



●回収したものは、ゴミとして出すか、埋めて土にもどしましょう。



●食器や鍋などのひどい汚れは、紙でふいてから洗いましょう。



●使えない油は、流しに流さないようになります。



●みそ汁やめんつゆなどは、残して放ることのない量を作りましょう。



●洗たくは、粉石けん又は、無リノのものを適正量使いましょう。



●流しから流してしまった固形分は沈てん槽を設け回収しましょう。



●家の前の側溝などは、ときどき清掃しましょう。

※富津市の環境についてのお問い合わせは、環境保全課
へ ☎ 007-0574

富津市の環境はひきつづき 良好を保っています

富津市の環境は例年どおり良好な環境を保っています。

この良好な状態を維持するため、公害の未然防止と自然環境保全のために環境影響評価(環境アセスメント)を実施し今後とも指導・監視を強化して行きます。

今月は昭和62年度の富津市の環境についてそれ二紹介しよう。

大気

大気汚染物質は大別して、工場・事業場などの固定発生源と、自動車・船舶などの移動発生源があります。冬期は個人住宅で使用する暖房施設などからもかなりの量が発生

されています。

大気については、昭和62年度の冬期に大気拡散がにくく、気象条件の出現で東京湾岸地域を中心にして酸性化物や浮遊粒子状物質が増加したため環境庁や県でも改善に向けて努力しております。

水質

水質汚濁物質は、工場や事業場からの産業系、一般家庭からの生活系、山林・水田・畑からの自然系のものが、あります。工場等については、排水基準を設け水質悪化の防止につとめています。

市内の現状については河川を中心に調査をしています。そこには河川で結核人口の多い場所に接する小河川でや汚れが目立つています。

●調理くずや食べ残しは、回収して流さないようにしましょう。



△地下水の採取については、地下水位について若干ではあります。

△地下水の採取については、地下水位について若干ではあります。

設や建設作業について指導・監視を行います。

地盤沈下

(地下水位)

原因としては地下水の採取、天然ガスから水などを考るますが、当市では地盤沈下の地域は見られません。地下水位について若干ではあります。

△地下水の採取については、地下水位について若干ではあります。

△地下水の採取については、地下水位について若干ではあります。

△6平方センチメートル(口徑27・6ミリメートル)以上の揚水機で汲上げる井戸は許可制となっています。

悪臭

悪臭とは騒音と同様に住民に不快感を与えるもので市民からの苦情については毎年何件か見られ、二、三数年は増加傾向にあります。

△地下水の採取については、地下水位について若干ではあります。

土壤汚染

土壤汚染は、昭和40年ごろから全国各地で水銀やカドミウム汚染が問題になつております。富津市においては、今まで特に問題になつておりますが、今後都市化・工業化の変化により新しい汚染源が発生する可能性もあると思われますので監視を強化していく予定です。

△地下水の採取については、地下水位について若干ではあります。

自然環境

富津市内には、南房総国定公園と県立高宕山自然公園地と鹿野山・鋸山・高宕山が公園区域に指定されております。豊かな自然を保護し、後世の人々に引き継ぐために、宅地の造成・居住建築等については必要に応じて各種の規制をして自然の環境を保護しています。

